

茅ヶ崎セントラルクリニック 金野 琢磨（臨床工学技士／事務部）

功 績	医療情報技師の資格を活用し、昨今の医療機関に対するサイバー犯罪に関する知識を、クリニックの他職員に対して還元し、注意喚起を行った上で新たなルール策定を推進した功績。
推 薦 者	事務長 若林陽盛
推 薦 理 由	今後、オンライン資格確認や各種ICTソフトウェアなどの導入を控える当院では、今回のような研修が定期的に必要になってくること、またその礎を築いてくれた金野の働きは理事長賞に値すると考え推薦させていただきます。

内 容

金野は勤続12年になるベテラン臨床工学技士です。物静かな佇まいと、的確な物言いで、多くの職員から頼りにされている職員です。黙々と業務をこなす傍ら、自らの特技であるITの知識をセントラルクリニックに還元するため、医療情報技師の資格を取得します。その後、電子カルテ導入の際にはアイテム選定などにその知識を使ってきましたが、近年ではなかなか医療情報技師の資格を活かした業務にあたる事が出来ませんでした。

2021年10月、徳島県の病院で、ランサムウェアに感染したPCが原因で、電子カルテシステムが長期にわたり使用できなくなり、救急や新規患者の受け入れを中止し、手術も可能な限り延期するなど、病院としての機能は事実上、停止した事例を見た金野は、当院においても同様の被害が出てもおかしくない、と考え、この事例を職員にわかりやすく説明するとともに、自院においての電子カルテ使用に係るパスワード管理と紐づけ、注意喚起を促す研修を企画しました。

そして今年5月に、自身の言いたいことをまとめた動画を作成し、全職員でそれを鑑賞。その場でパスワード管理を徹底することなどを周知するとともに、危ないパスワードを使用している職員へのアドバイスをを行い、危機管理意識の向上に寄与してくれました。

研修を聞いた職員からは、なぜパスワード管理が重要か、事例を通して深く理解できた等の意見があり、当該研修は共有フォルダ内に保管し、いつでも見る事が出来るようになっています。